

2022 年度事業報告

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 ブロードバンド・アソシエーション

1 事業の成果

令和4年度も新型コロナウイルスによる大きな影響が残る中で、BA では一昨年から定着してきたオンライン会議やライブ配信を活用することで、主要な活動はほぼ年度計画に沿って実施することができました。

平成16年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、6 月の第 37 回は「Beyond5G 時代のパラダイム変革～「IOWN」で挑むゲームチェンジ～」をテーマに、また 12 月の第 38 回では「Web3.0 時代の到来は本物か?」をテーマに、明治記念館からのライブ配信で実施し、いずれの回も 1,000 名近くのオンライン参加者を集めて好評でした。

昨年からはライブ配信のみで実施している「BA エグゼクティブサロン」は、毎回多彩な講師をお迎えし、予定通り年間9回実施することができました。「スマートプラットフォーム・フォーラム」につきましても、7月 25 日に「地域 DX を牽引するローカル5Gのユースケース」と題し、第 14 回をライブ配信で開催し、こちらも 1,000 名近くの方が参加しました。。

また、一昨年立ち上げた「ローカル5G普及研究会」は、令和4年度も活発に活動を続け、計 5 回(6 月、9 月、11 月、1 月及び 3 月)普及研究会を開催したほか、令和4年度総務省実証(総額 61 億円)の応募に関する特別研究会を 2 回(4 月、6 月)開催し、その結果、開発実証採択 27 件の内 23 件を研究会参加メンバーが占めることができました。さらには 7 月に合同検証会を開催し、マルチベンダー環境における相互接続を確認することができました。2 月には令和5年度 4 月に開催予定の第 2 回合同検証会の事前準備会合を、東京大学中尾研究室にて行いました。これまでは新型コロナの影響によりオンラインでしか会合ができませんでした。研究会発足以降初めてリアルで会合が開催でき、会員相互の情報交換をより活発に行うことができました。

一方、「高齢者生活 ICT 支援サービス研究会」は、8 月に「センシング IoT 標準利活用研究会」の広島市立大学田中宏和教授等と打ち合わせを行い、今後の連携について議論しました。6回開催された同研究会に当方のメンバーも参加し、標準化の内容を把握しつつ、ユースケースの検討を行いました。研究会の立ち上げには至りませんでした。

なお、「BA クリエイターズサロン」、「映像ビジネス研究会」は、新型コロナの関係で、令和4年度においても実施できませんでした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 10,591 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
	「ブロードバンド特別講演会」						

ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営 1	<p>「第37回ブロードバンド特別講演会」 (「Beyond5G時代のパラダイム変革～「IOWN」で挑むゲームチェンジ～)」</p> <p>・特別講演:総務省 田原康生氏(総務省国際戦略局長:Beyond 5Gに向けた情報通信技術戦略の推進)</p> <p>・基調講演:川添雄彦氏(日本電信電話株式会社 常務執行役員 研究企画部門長:限界打破のイノベーションーIOWN 構想についてー)</p> <p><パネルディスカッション> “「IOWN」は世界のICT市場を本当に変えるのか”</p> <p>・モデレーター:関口和一氏((株)MM 総研代表取締役所長、元日経新聞社論説委員)</p> <p>・パネリスト:川島正久氏(日本電信電話株式会社 IOWN 推進室 室長:インフラは既に変わりは始めている)、伊藤幸夫氏(日本電気株式会社 コーポレート・エグゼクティブ:IOWN 社会実装に向けた NEC の取り組み)、大野誠氏(インテル株式会社 執行役員 経営戦略室 室長:デジタルルネサンスの進化と半導体の今後)、服部雅之氏(ソニーグループ株式会社 R&D センター 特任技監:IOWN Global Forum におけるソニーグループの取り組み)</p>	6 月 21 日	明治 記念館	9 名	一般企業、一般ユーザ、共催団体会員、BA 会員、報道関係者	会場 36 名 ネット配信 (延: 1,779 名 (ライブ配信: 961 名、 オンデマンド: 818 名)	7,230
	<p>「第38回ブロードバンド特別講演会」 (「Web3.0 時代の到来は本物か?」)</p> <p>・特別講演:平将明氏(衆議院議員 自由民主党情報調査局長、広報本部副本部長:デジタルの潮流・日本の勝ちずじ)</p> <p>・基調講演:飯田祐二氏(経済産業省 経済産業政策局長:「Web3.0 が切り拓く地平と、日本の課題」)</p>	12 月 7 日	明治 記念館	9 名	一般企業、一般ユーザ、共催団体会員、BA 会員、報道関係者	会場 28 名 ネット配信 (延: 929 名 (ライブ配信: 444 名、 オンデマンド: 485 名)	

	<p><パネルディスカッション> “Web3.0 で変わる日本の社会とビジネス” ・モデレーター: 関口和一氏((株)MM 総研代表取締役所長、元日経新聞社論説委員) ・パネリスト: 岩瀬大輔氏(KLKTN(コレクション、香港)創業者兼 CEO、元ライフネット生命保険株式会社 取締役会長) マルク・カルプレス氏(カルプレス研究所株式会社 代表取締役 CEO、元株式会社マウントゴックス CEO) 國光宏尚氏(株式会社フィナンシェ創業者兼代表取締役 CEO、株式会社Thirdverse 創業者兼代表取締役 CEO) 赤羽喜治氏(株式会社 NTT データ 金融戦略本部 自律分散社会ストラテジスト)</p>						
交流会・研究会・セミナーの開催 1	「BA エグゼクティブサロン(座長: 岩本理事長)」						1,740
	第 151 回: 井上秀樹氏(日本電気株式会社 ネットワークサービスビジネスユニット ネットワークソリューション事業部門 ネットワークインフラ事業統括部 ディレクター: 新たな生体認証技術であるヒアラブルデバイスを活用したビジネス共創)	4 月 28 日	NTTデータ 本社	5 名	一般ユーザ、BA 会員	会場: 3 名 ネット: 57 名	
	第 152 回: 宮本隆史氏(社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 統括施設局長、特別養護老人ホーム フロース東糞谷 施設長: テクノロジーを活用したハイブリット介護経営)	5 月 19 日	NTTデータ 本社	5 名	一般ユーザ、BA 会員	会場: 5 名 ネット: 42 名	
	第 153 回: 星敬一氏(NTT データ先端技術株式会社 執行役員サイバーセキュリティ事業本部 セキュリティイノベーション事業部長: サイバーセキュリティの動向とビジネス成長を支えるセキュリティマネジメント)	7 月 21 日	NTTデータ 本社	5 名	一般ユーザ、BA 会員	会場: 4 名 ネット: 48 名	
	第 154 回: 小木しのぶ氏(株式会社 NTT データ数理システム 取締役 応用統合プラットフォーム部長、日本計算機統計学会 会長、統計関連学会連合 理事、立教大学 客員教授: AI のベースとなる数理科学とアカデミアとスキリングと企業)	9 月 15 日	NTTデータ 本社	5 名	一般ユーザ、BA 会員	会場: 5 名 ネット: 43 名	
第 155 回: 今和泉仁氏(メディア・IT コンサルタント、前 NHK Cosmomedia (Europe) Ltd. 副社長: 日本の放送番組の海外での違法 IPTV 配信の状況)	10 月 19 日	NTTデータ 本社	5 名	一般ユーザ、BA 会員	会場: 8 名 ネット: 58 名		

	第156回:岩村幹生氏(株式会社 NTT コノキュー 取締役:NTTグループが目指す XR の世界とメタバースの可能性)	11月17日	NTTデータ 本社	5名	一般ユーザ、 BA 会員	会場: 11名 ネット: 116名
	第157回:富士川祐輔氏(株式会社フジテレビジョン 編成制作局 編成ビジネスセンター ビジネスセンター事業部 局長次長職 DX担当)、小川貴之氏(株式会社 NTT データ スマートライフシステム事業部メディア統括部 課長代理):iCADs のポテンシャルを見える化 ~NeuroAI®/D-Planner®による広告効果検証	1月19日	NTTデータ 本社	5名	一般ユーザ、 BA 会員	会場: 3名 ネット: 53名
	第158回:濱村芳彦氏(トヨタ自動車株式会社 CV カンパニー 水素事業領域 統括部長)、丹野至之氏(株式会社 TBS テレビ メディアテクノロジー局長):世界初の水素中継車が日本を走る! 来るべき水素社会と放送業界の未来	2月16日	NTTデータ 本社	5名	一般ユーザ、 BA 会員	会場: 9名 ネット: 70名
	第159回:野中崇史氏(日本電気株式会社 デジタルビジネスプラットフォームユニット DX オファリング・プラットフォーム戦略統括部 プロフェッショナル:VRの業務活用とメタバースでの応用)	3月16日	NTTデータ 本社	5名	一般ユーザ、 BA 会員	会場: 8名 ネット: 54名
	「BAクリエイターズサロン(座長:為ヶ谷秀一)」		—			
	新型コロナの関係で実施せず。					
	「映像ビジネス研究会(座長:境真良)」		—			
	新型コロナの関係で実施せず。					
ブロードバン	「SPF 公開フォーラム(委員長:森川博之)」					

<p>ドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営 2</p>	<p>「第14回スマートプラットフォーム・フォーラム」 テーマ「地域DXを牽引するローカル5Gのユースケース」 ・特別講演Ⅰ：村上敬亮氏（デジタル庁統括官、元 内閣府 地方創生推進事務局 審議官の代理 吉田恭子氏：デジタル田園都市国家構想について） ・特別講演Ⅱ：渡辺克也氏（一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事長、元総務省 総務審議官）の代理 糸將之氏：2030ケーブルビジョン） ・基調講演：中尾彰宏氏（東京大学大学院教授、東京大学総長特任補佐、ローカル5G普及研究会委員長：ローカル5Gにおける産学連携の取り組み）</p> <p><令和3年度ローカル5G開発実証等の事例報告> 司会：中尾彰宏氏 講師：武居弘純氏（東日本電信電話株式会社 ネットワーク事業推進本部設備企画部 担当部長：NTT東日本のローカル5G開発実証の事例報告） 講師：藤本幸一郎氏（日本電気株式会社 上席テクノロジー・エバンジェリスト：ローカル5G開発実証で加速するDXの社会実装） 講師：佐藤直人氏（富士通株式会社 モバイルシステム事業本部 モバイルソリューション事業部長：富士通のローカル5G開発実証の事例報告） 講師：福原哲哉氏（株式会社NHKエンタープライズ イノベーション戦略室 長：演出をケーブルから解き放つ～令和3年度実証実験ユースケースより～） 講師：伊賀野康生氏（株式会社企 執行役員 チーフ・テレコム／メディア・コンサルタント：令和3年度ローカル5G開発実証の全体的な傾向） 講師：松村武氏（国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター ワイヤレスシステム研究室長：NICTのローカル5G実証に関する取り組み） <パネルディスカッション> “ローカル5Gの真の価値” ・モデレーター：中尾彰宏氏 ・パネリスト：松本俊博氏（株式会社NHKエンタープライズ 取締役 CDXO、BA 副理事長）、武居弘純氏、藤本幸一郎氏、伊賀野康生氏</p>	<p>7月25日</p>	<p>V-CUBE スタジオ</p>	<p>4名</p>	<p>一般企業、一般ユーザ、共催団体会員、BA 会員、報道関係者</p>	<p>参加者会場：6名 ネット配信：1,109名（ライブ配信：612名、オンデマンド：497名）</p>	<p>718</p>
-------------------------------------	---	--------------	--------------------	-----------	--------------------------------------	---	------------

--	--	--	--	--	--	--	--	--

交流会・研究会・セミナーの開催2	「ローカル 5G 普及研究会(委員長:中尾彰宏)」						903
	<p>●令和4年度の国プロ開発実証(61億円)への応募、製品提供を支援するため、「研究会」・「実証試験 WG」・「技術 WG」が合同で行う「特別研究会」を2回開催した。</p> <p>・第1回:合同検証会の開催を議論。ローカル5G 関連製品、サービスを3社(エイビット、FLARE SYSTEMS、トレンドマイクロ)から紹介。</p> <p>・第2回:NTT 東日本による令和3年度ローカル 5G の開発実証の報告。Interop 2022 における相互接続検証の結果報告。ローカル5G 関連製品、サービスを2社(東芝インフラシステムズ、FCNT)から紹介。</p>	特別研究会 第1回 4月28日 第2回 6月14日	WEB会議 (Zoom) WEB会議 (Zoom)	2名 2名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 83名 参加者 78名	
	<p>●運営委員会を2回開催し、本年度の活動方針の策定、リアルな合同検証会の進め方等について議論した。</p>	運営委員会 第3回 4月28日 第4回 9月14日	WEB会議 (Zoom) WEB会議 (Zoom)	2名 2名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 25名 参加者 17名	
<p>●普及研究会を5回開催した。</p> <p>・第7回:アドホック WG の取組み状況として、L5G 課題検討アンケート結果報告と総務省との意見交換会模様を紹介。NTT 東日本による令和3年度ローカル 5G の開発実証3件の報告。また、Beyond5G におけるローカル 5G の役割や経済社会活動の継続性高度化に関して議論した。</p>	普及研究会 第7回 6月3日	WEB会議 (Zoom)	2名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 87名		

<ul style="list-style-type: none"> ・第 8 回: R4 実証・試作事業採択結果 (全 27 件中 23 件が研究会メンバが関与)の確認。合同検証会の報告。ローカル5G 関連製品、サービスを2社(NEDO、FLARE SYSTEMS)から紹介。 ・第 9 回: 沖縄 OPEN DAYS 相互接続実験の紹介。ローカル5G 関連製品、サービスを NEC から紹介。 ・第 10 回: 沖縄 OPEN DAYS 相互接続実験の報告。技術試験衛星 9 号機(ETS 9)通信ミッション利用実験の紹介。ローカル5G 関連製品、サービスを3社(iD、東陽テクニカ、NEC)から紹介。 ・第 11 回: セキュリティサービスをデロイトトーマツサイバーから紹介。東京大学キャンパス事前見学会の報告 	第 8 回 9 月 27 日	WEB 会議 (Zoom)	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 67 名
	第 9 回 11 月 21 日	WEB 会議 (Zoom)	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 58 名
	第 10 回 1 月 25 日	WEB 会議 (Zoom)	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 47 名
	第 11 回 3 月 17 日	WEB 会議 (Zoom)	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 53 名
<p>●マルチベンダー環境における端末の接続性の確認とスループット測定を行うため、NTT 東日本ローカル 5G オープンラボにて合同検証会を開催した。NTT 東日本、IIJ、NEC、FLARE SYSTEMS、APRESIA Systems 各社が参加し、基本的には基地局(3システム)と端末(6機種)のメーカーが異なるマルチベンダー環境でも多数の機種で相互接続を確認できた。</p>	7 月 19 日	NTT 中央研修センター	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 20 名
<p>●第 2 回合同検証会を東京大学で 4 月に開催するにあたり、事前に東京大学中尾教授のラボを関係者で見学。初めて会員相互の対面での会合となった。</p>	2 月 10 日	東京大学	2 名	ローカル5G 普及研究会会員	参加者 34 名
<p>「SPF 健康医療分科会(主査:坪井俊明)」</p> <p>●「高齢者生活支援ICTサービス研究会」発足に向け、進め方について適宜議論すると共に、研究会発起人の山田肇先生からの紹介で、経済産業省の補助金を得て発足した「センシングIoT 標準利活用研究会」の広島市立大学田中宏和教授および事務局の一般社団法人 ETA・AAL 推進協議会専務理事 上杉貴様と8月1日に打ち合わせを行い、今後の連携について議</p>	8月1日	対面会議	2 名	参加者 5 名	

	論すると共に、先方の研究会に当方のメンバーも参加することとした。						
	「SPF サービス・WEB 分科会(主査:木浦卓治)」						
	<p>・W3C Agriculture CGの委員長である木浦卓治氏(農研機構)が「サービス・WEB 分科会」の主査を兼務し、農業分野の WoT の国際標準化に向けた活動を、外部環境をウオッチしながら進めている。</p> <p>・これまで活動の中心であった木浦卓治氏(農研機構)の退職に伴い、本分科会メンバーが WoT-JP に参加し、WoT-JP に集中することで本分科会を発展的に解散、終了させるという当初の方針で調整中である。</p>						

(2)その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	実施しなかった。				